



SENSHOJI YUKARI NEWSLETTER

1994-2024

ゆかり通信
VOL. 315
令和 6 年 4 月

北海道千歳市清水町1-14 鶴竈山 千正寺

TEL: 0123-23-2442 FAX: 0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2024年千正寺カレンダー 4月の言葉



天上天下唯我独尊

(釈尊)

4月8日は、お釈迦様の誕生日、「花まつり」ですね。

お釈迦様は、誕生されてすぐ、東西南北へ七歩あゆまれ、右手で天、左手で地を指して、「天上天下唯我独尊」と言われたと伝えられています。そのまま読むと、「天の上にも下にも、唯、我、独り尊い」「世界で、俺一人が偉い！」とも読めますから、暴走族が車に書いたりしました。

一方「そうじゃないんだ！人間は何らかの条件によって尊いのではなく、人間の、いのちの尊さは、能力、学歴、財産、地位、健康などが有るか無いかを超えているんだ。皆、そのまんまで尊いのですよ」という考え方の方もいらっしゃる。「俺が偉い！」よりも、「いのちの尊さ」の方が、素敵な考え方ですよ。

でも「本当の事が知りたい」方のために、突っ込んだお話をします。

古い仏典では「天上天下唯我為(い)尊」という言葉で、お釈迦様のお言葉ではありませんでした。『長阿含経』には、お釈迦様より前に出られた、「過去七仏」の最初、毘婆尸仏(びばしぶつ)が、誕生した時に言った言葉だとされています。やがてそれが、釈迦が生まれた時に、「他の人々がそう言って褒め称えた」となり、後に「お釈迦様ご自身が、ご誕生の直後に、自ら言った言葉だ」と信じられるようになったんですね。

他のお経には、

「天上天下 唯我為尊 三界皆苦 吾当安之」(『修行本起経』卷上・菩薩降身品第二 より)

(意味) 三つの迷いの世界にいる人々は皆、苦み悩んでいる。私はこの苦の人々を安らかにするために生まれた。だから尊い。

「天上天下 唯吾(ご)獨尊 今茲而往 生分已盡(こんじにおう じょうぶんいじん)」(『大唐西域記』より)

(訳) 世界の中で、我のみが尊い。今ここに生まれてきたが、再び生きることはない。(意味) お釈迦様は、この世で解脱して、さとりの世界に行くから尊い。約2500年もの昔、インドでお生れになったお釈迦様の教えは、災害・戦争・差別などに、苦しむ人々を、2500年もの間、全世界で、救い続けて来たんですね・・・。南無阿弥陀仏(^人^)

(文：桜庭尚吾法務員)